

経営説明会

2023年度

 愛媛銀行



第1章	2022年度の決算概要（単体）	…… P. 3
第2章	中期経営計画の概要と進捗	…… P. 16
第3章	サステナビリティ経営	…… P. 31

第1章

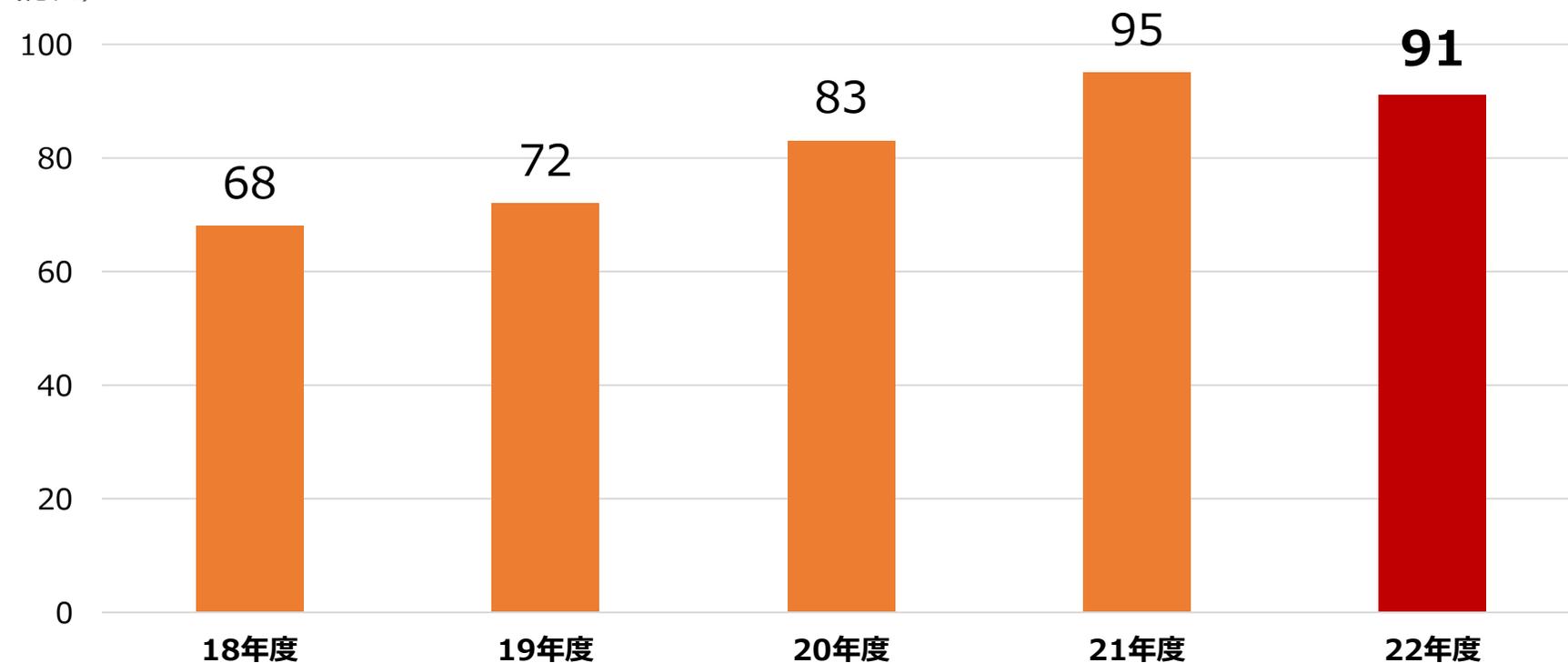
2022年度の決算概要（単体）

利益の状況 1/2

- 銀行の本業の収益性を示すコア業務純益は、90億円超を維持
- 海外金利の上昇に伴う外貨調達コストの増加が押し下げ要因に

コア業務純益の推移

(億円)

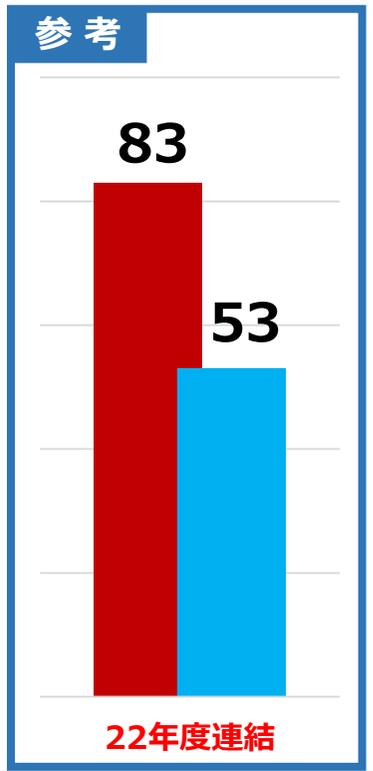
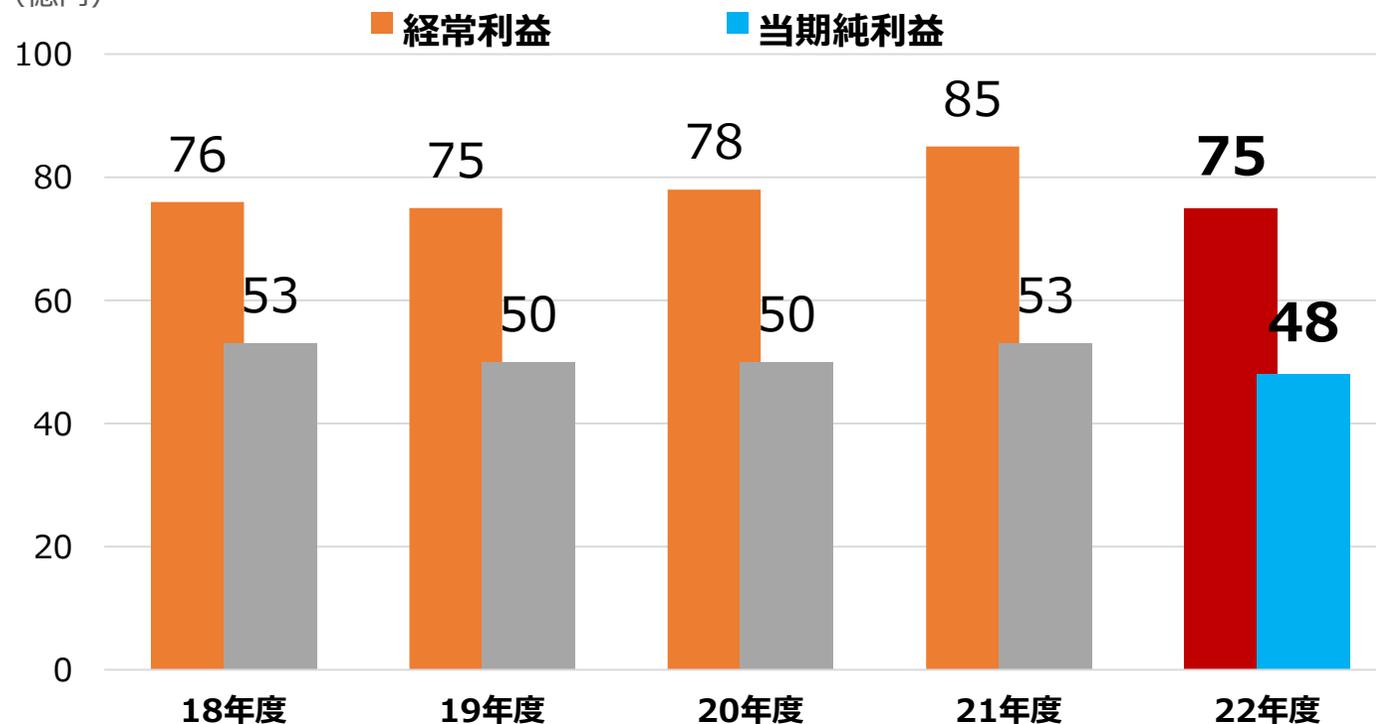


利益の状況 2/2

- 経常利益、当期純利益ともに、業績予想を上回る実績を確保
- 連結決算では、当期純利益50億円超を9期連続して計上

経常利益・当期純利益の推移

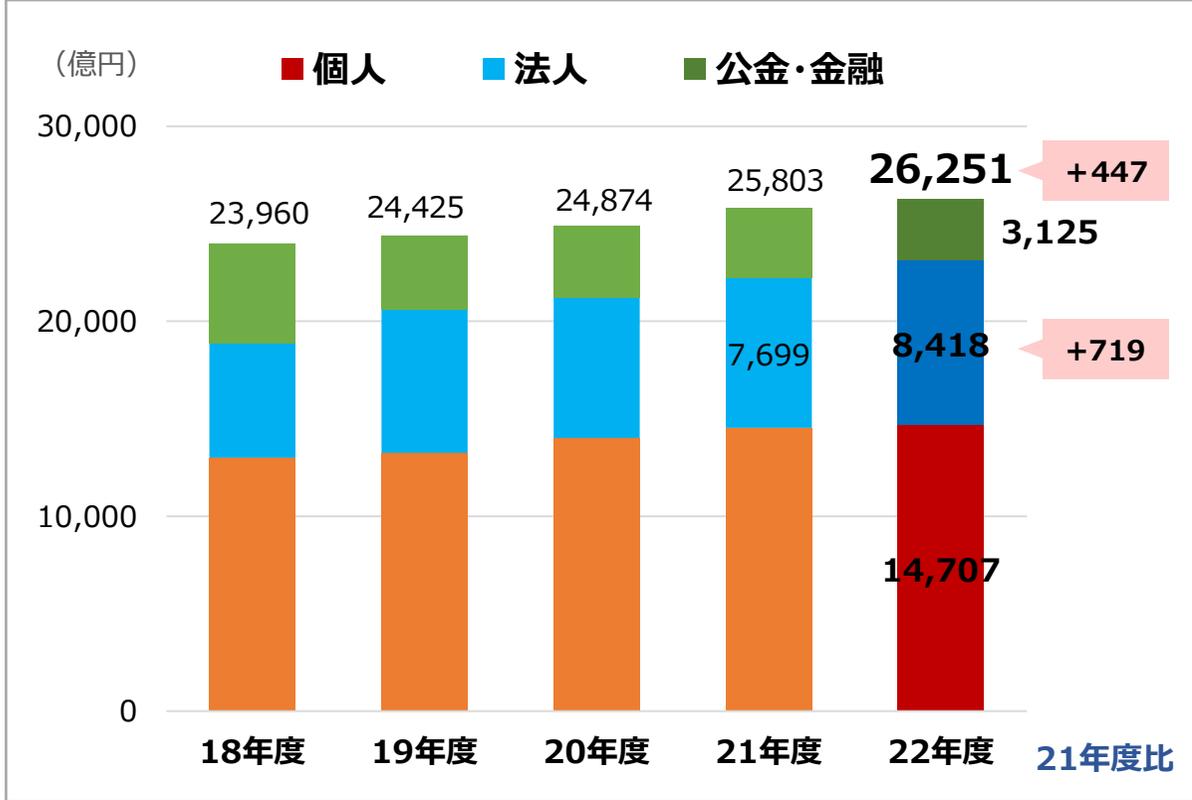
(億円)



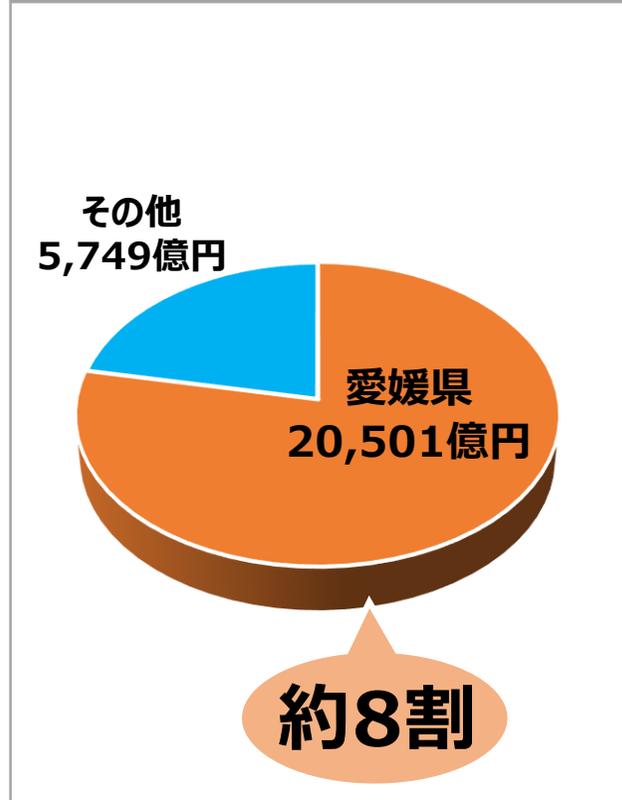
預金等の状況

- 法人預金を中心に順調に増加
- 愛媛県内から約8割を調達

主体別 預金等（末残）の推移



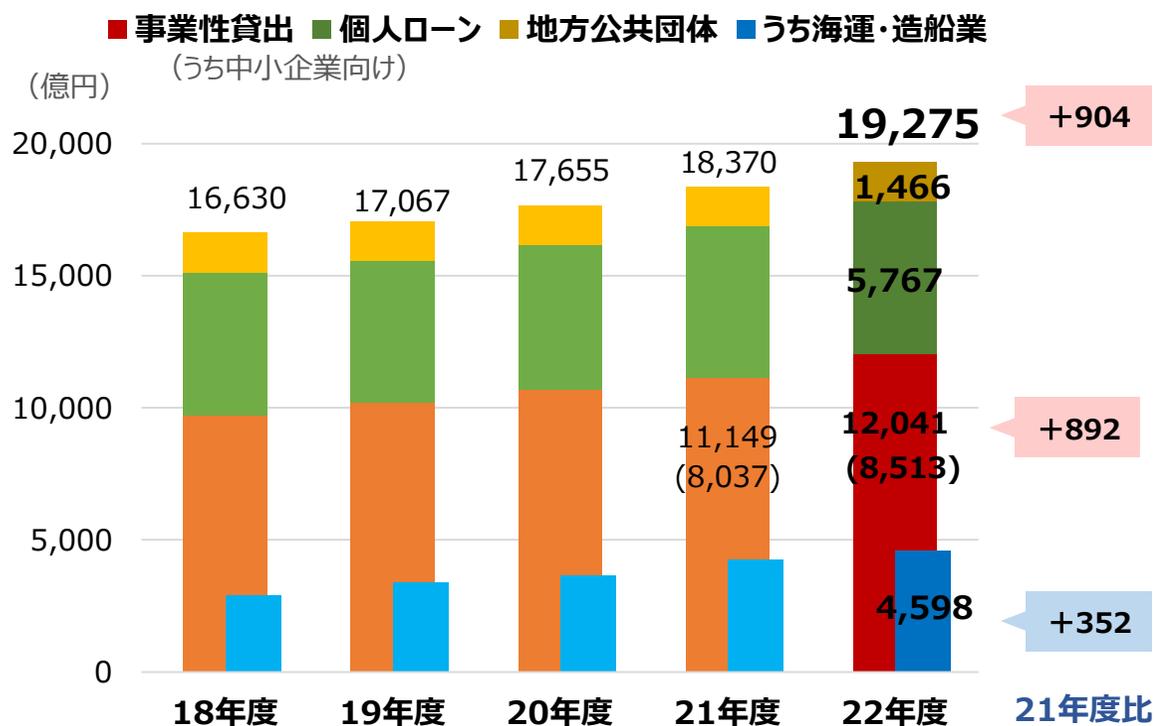
地域別 預金等（末残）



貸出金の状況

- シップファイナンスを含む中小企業向け貸出が順調に増加
- 約8割が、愛媛県内向け貸出

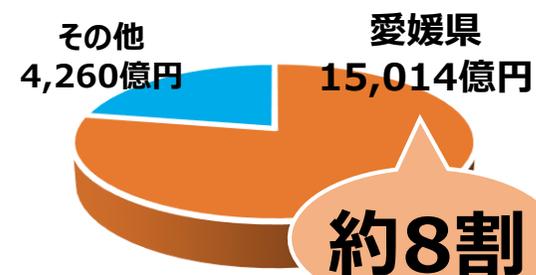
主体別 貸出金（末残）の推移



(参考) 個人ローン残高の推移

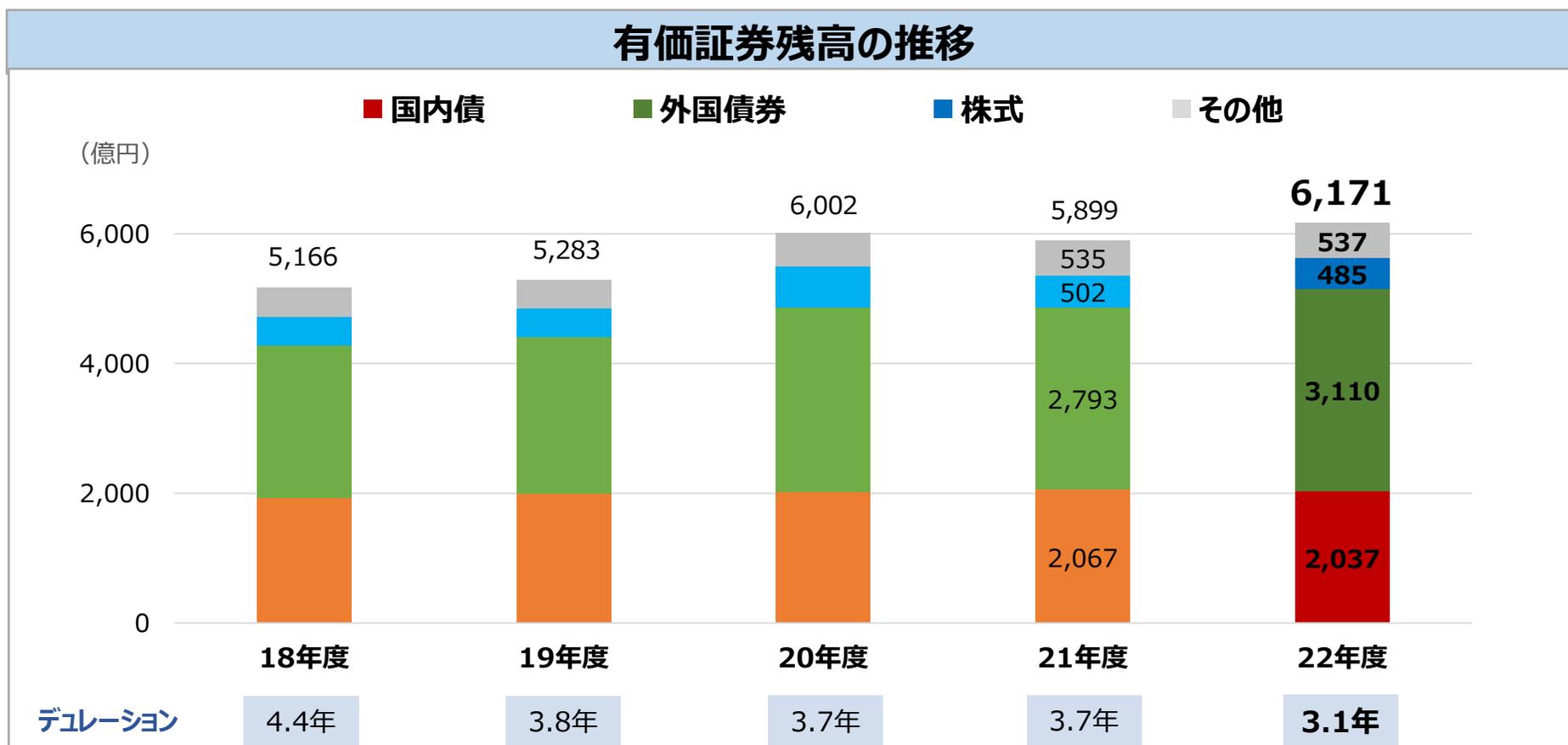


地域別 貸出金（末残）



有価証券の状況 1/2

- 有価証券は、国内金利環境を踏まえ、債券を中心に運用

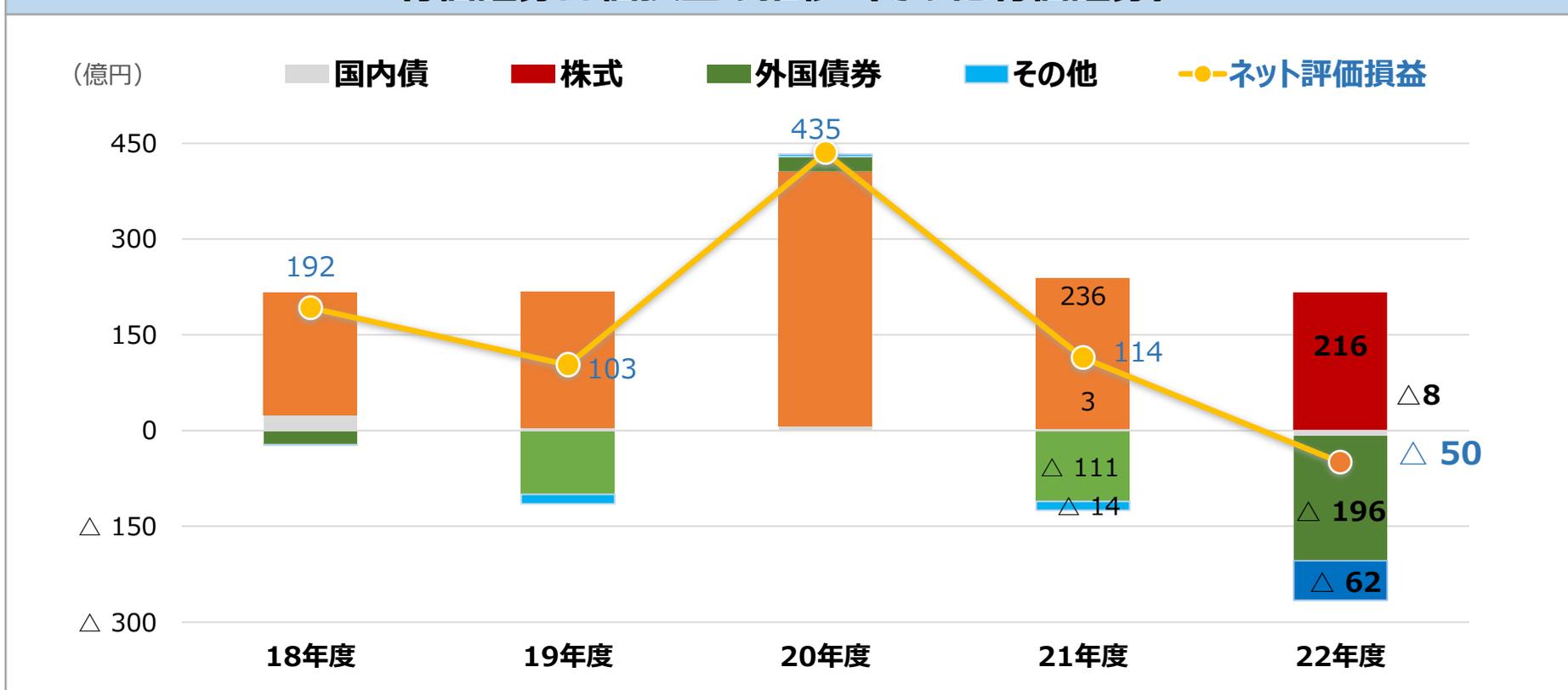


※組合出資金勘定を除く。

有価証券の状況 2/2

- 有価証券の評価損益▲50億円は、海外金利の上昇による影響
- 外国債券の約75%は変動債であり、経営への影響は限定的

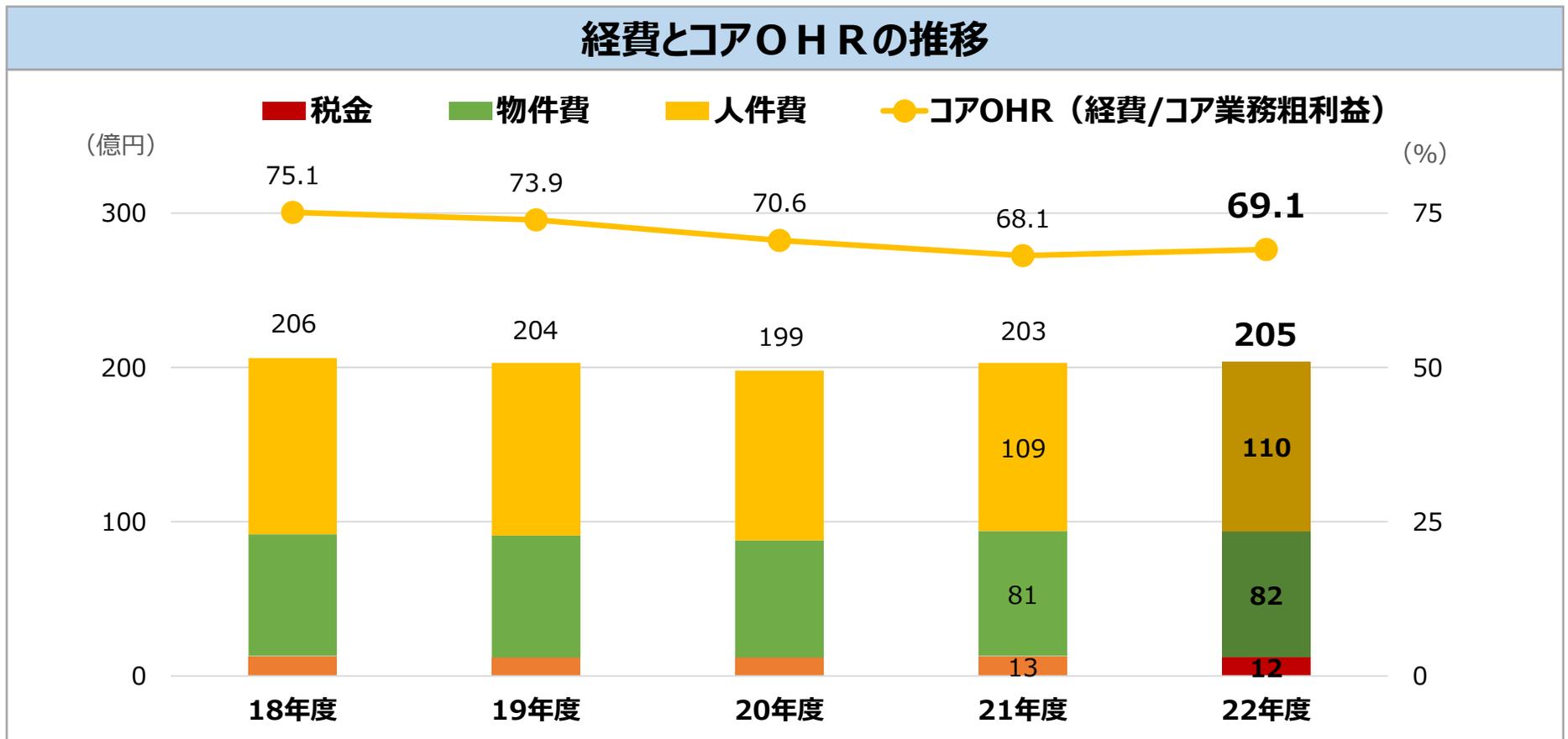
有価証券評価損益の推移（その他有価証券）



※組合出資金勘定を除く。

経費の状況

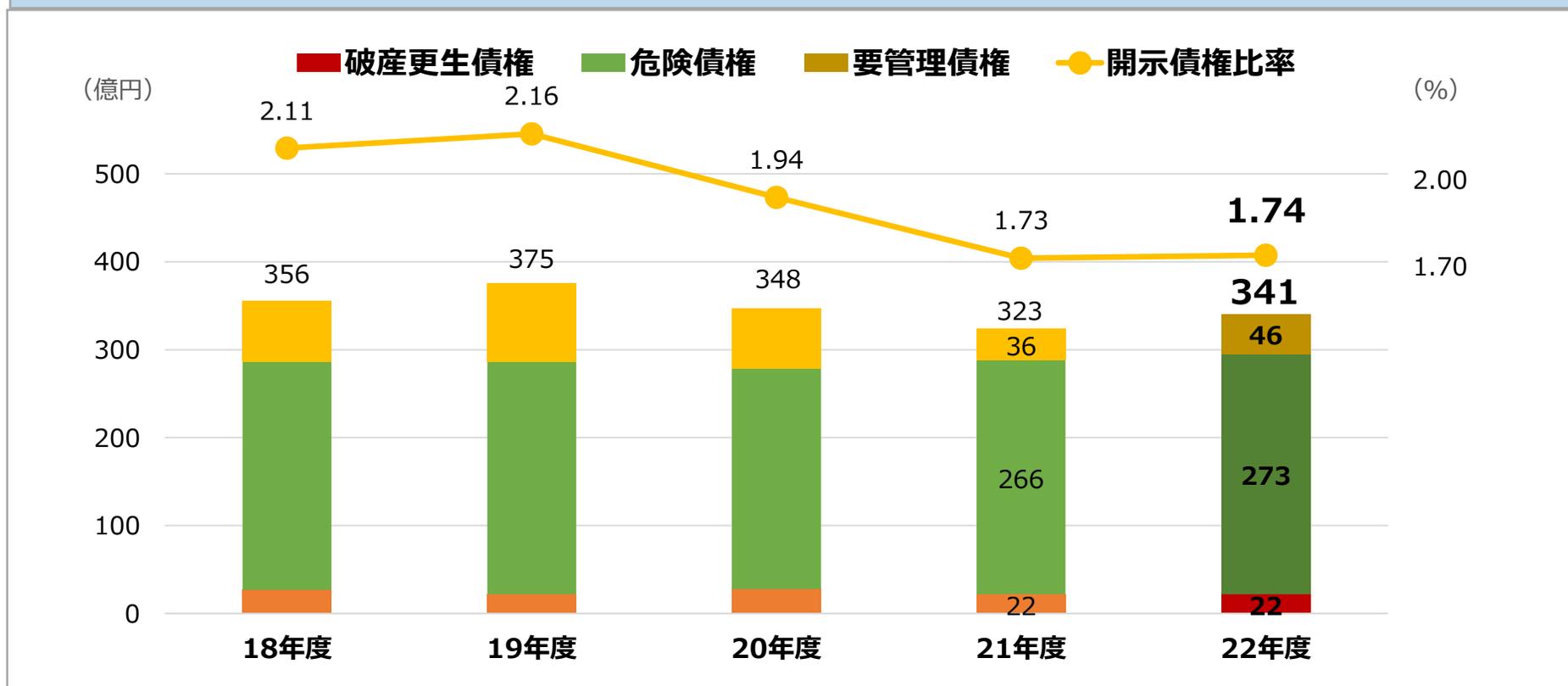
- 戦略的な成長投資（デジタル投資・人的投資等）は継続
- コアOHRを指標に、経費コントロールを徹底



開示債権の状況

- 開示債権残高は増加したものの、開示債権比率は横ばいで推移

開示債権の推移

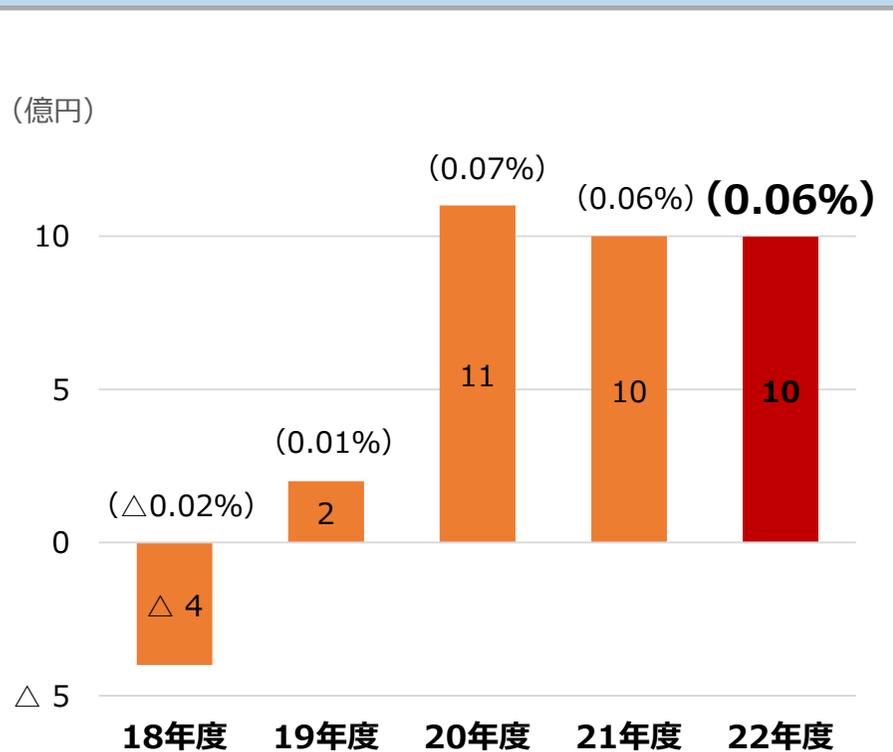


※開示債権の残高については、単位未満を四捨五入して表示している。

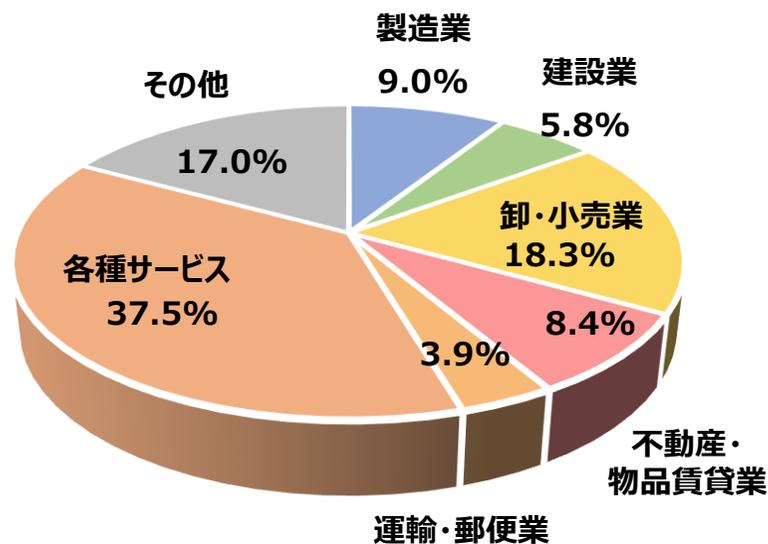
信用コストの状況

- 予防的に引当を行い、信用コストは前年並みの計上

信用コストの推移



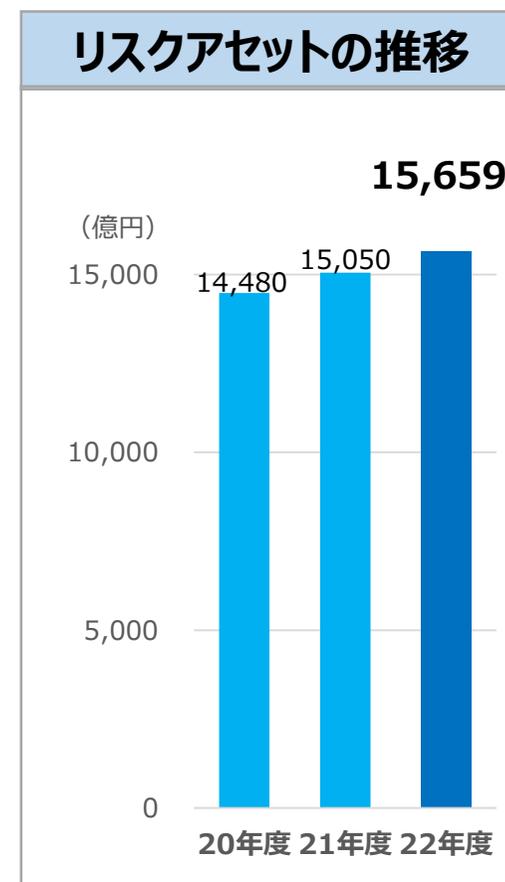
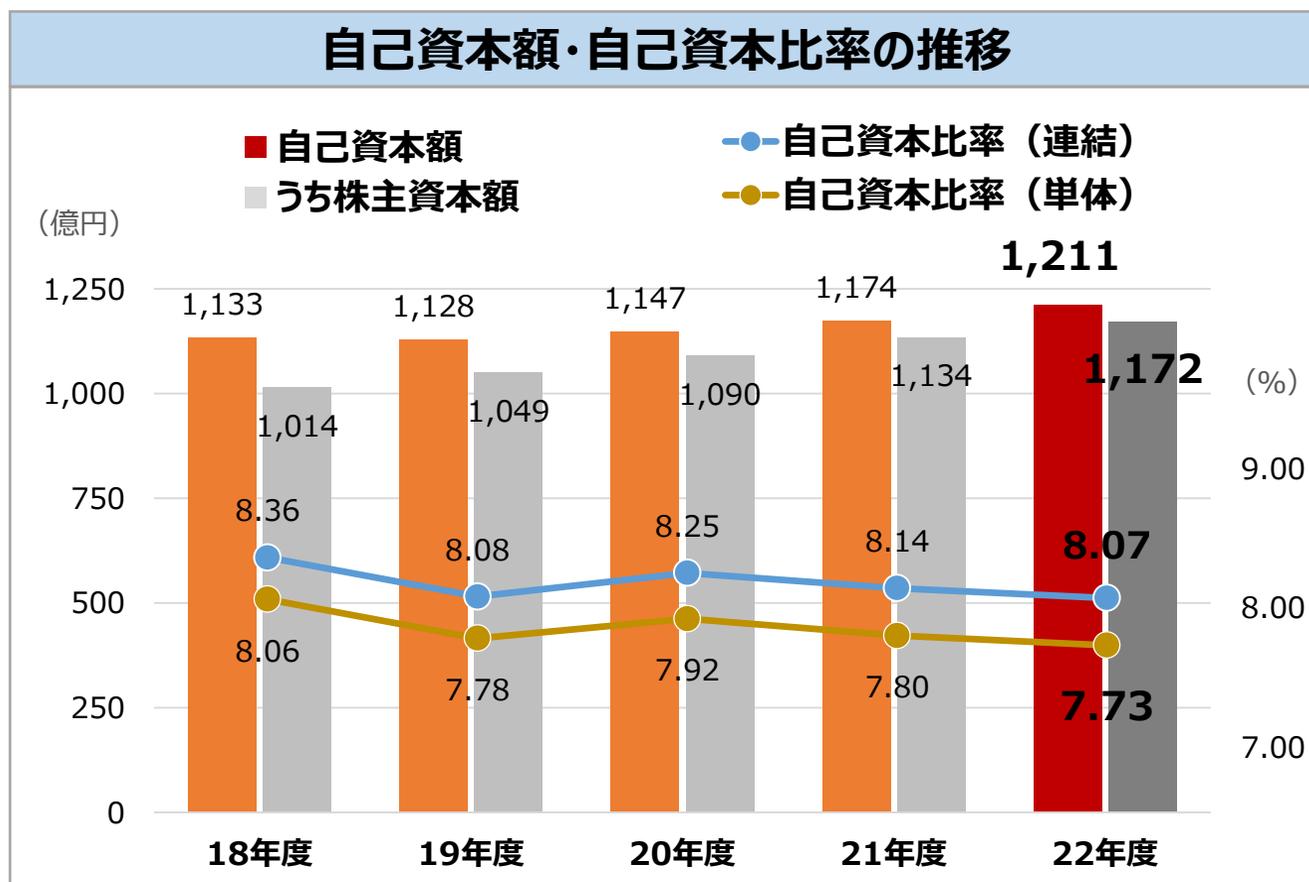
業種別リスク管理債権の内訳



※カッコ内は信用コスト比率 (信用コスト÷貸出金平残)

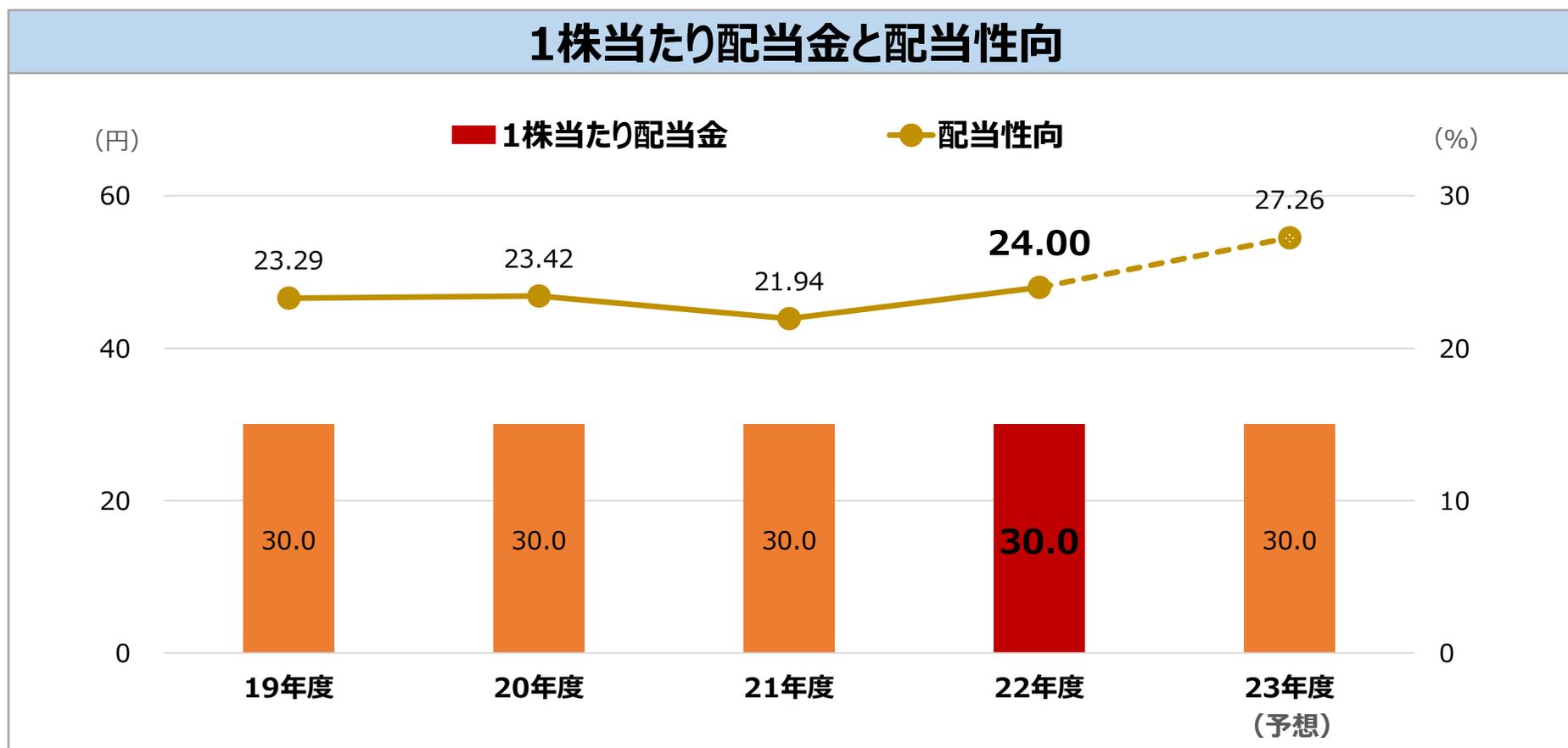
自己資本の状況

- 自己資本額は、安定した利益計上により順調に増加
- 積極的な貸出を背景に、リスクアセットは増加、自己資本比率は低下



株主還元の状況

- 毎期30円の安定配当を実施、23年度も30円配当を予想

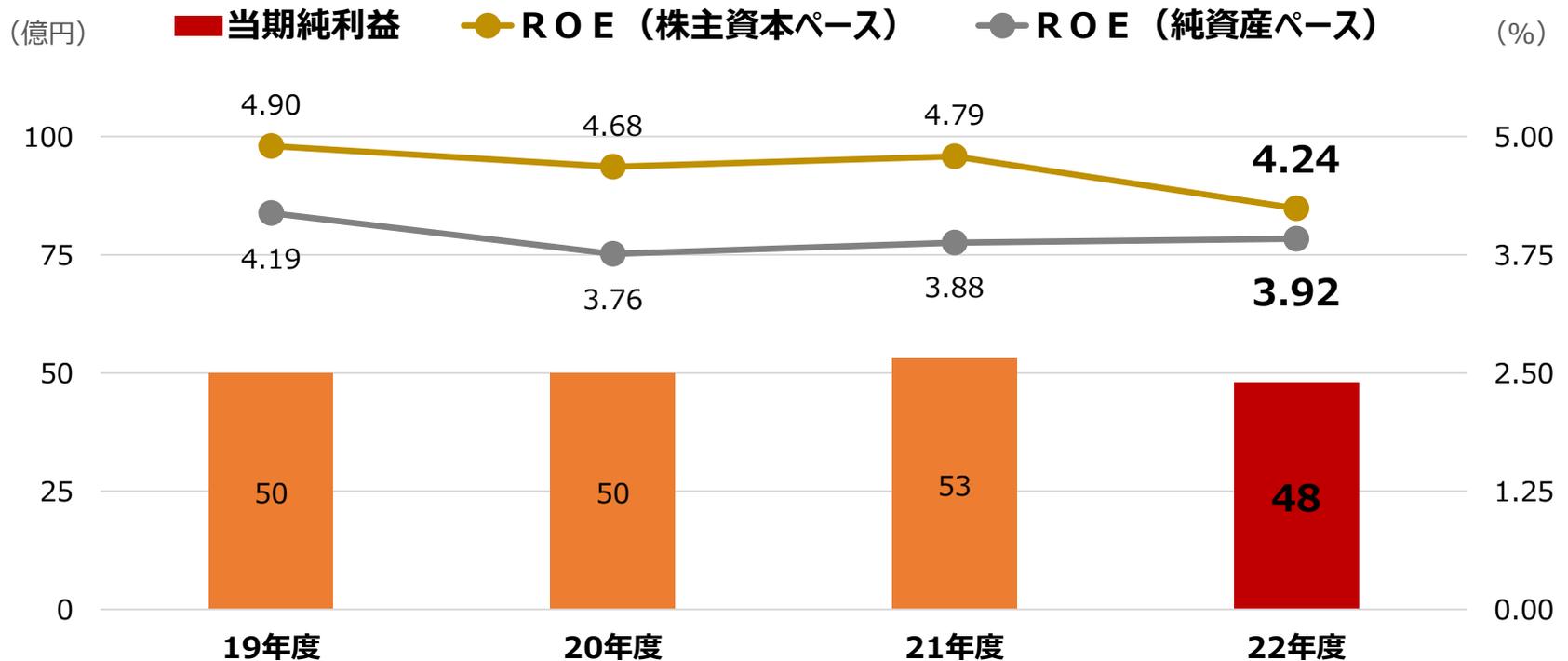


※配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当期純利益

ROEの状況

- 収益力の強化によってROE向上を目指す

ROEの推移



※ ROE (株主資本ベース) = 当期純利益 ÷ { (期首株主資本 + 期末株主資本) ÷ 2 }
 ROE (純資産ベース) = 当期純利益 ÷ { (期首純資産 + 期末純資産) ÷ 2 }

第2章

中期経営計画の概要と進捗

中期経営計画の概要

第17次中期経営計画 (2021~2023年度)

変革への挑戦 2nd stage ~地域再起動のプラットフォームへ~

2021	2022	2023
------	------	------

基本
方針

「金融プラス1戦略」
の推進

効率経営
の実践

強固な経営基盤
の確立

個別
戦略

- ①新連携による金融プラス1戦略
- ②コンサルティング戦略
- ③デジタル戦略

- ④ESG・SDGs戦略
- ⑤人財戦略
- ⑥生産性向上戦略

- ⑦市場戦略
- ⑧経営管理態勢強化

中期経営計画 数値目標と進捗 (単体)

		2020年度 (中計直前期)	2022年度 実績	2023年度 計画 (中計最終年度)
収益性	当期純利益	50億円	48億円	50億円以上
	コア業務粗利益	282億円	296億円	282億円以上
	OHR ^{※1}	70.6%	69.1%	73%未満
成長性	総預金残高	24,874億円	26,251億円	25,000億円以上
	貸出金残高	17,655億円	19,275億円	18,500億円以上
健全性	自己資本比率 ^{※2}	7.92%	7.73%	8%以上
	開示債権比率 ^{※3}	1.94%	1.74%	1%台

※1 OHR：営業経費 ÷ コア業務粗利益

※2 自己資本比率：自己資本額 ÷ リスクアセット

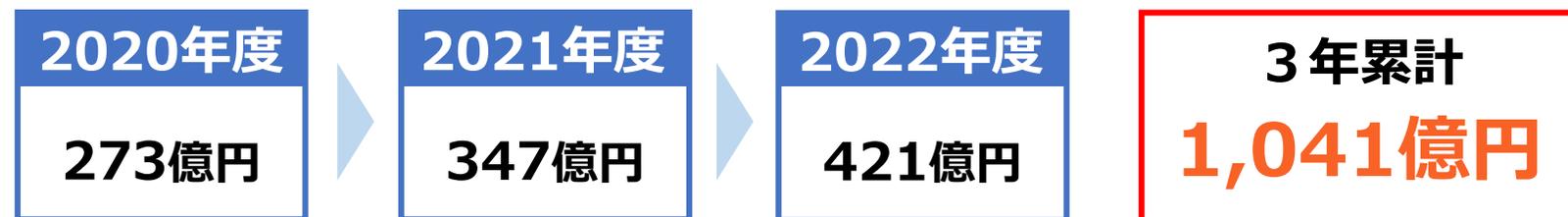
※3 開示債権比率：開示債権残高 ÷ (貸出債権残高 + 保証等債権残高)

2020年1月

山口フィナンシャルグループと 西瀬戸パートナーシップ協定締結



提携効果 ※両社合算



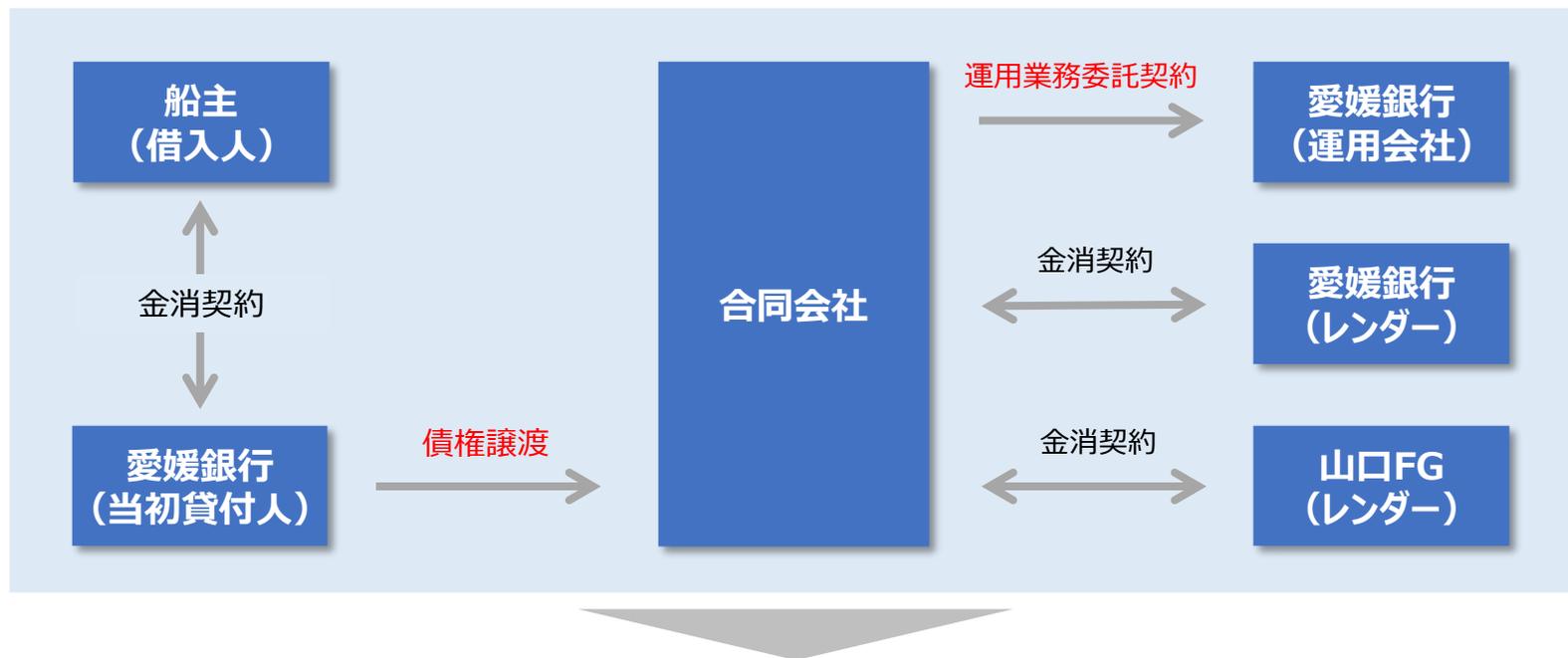
現在の連携分野

- 法人分野
- シップファイナンス
- 地域振興 など

金融プラス1戦略 ~コラボローン西瀬戸~

当行と山口フィナンシャルグループ傘下の銀行が共同で、一般社団法人が設立する合同会社へローンを実行し、合同会社が船主向け融資債権を買取りするマルチ通貨対応のシップファイナンス・スキーム

<ストラクチャー>



船舶大型化の中、船主様の資金調達の選択肢が広がるスキーム

金融プラス1戦略 事業領域の拡大～西瀬戸マリンパートナーズ～

2022年11月

海事産業交流会2022 開催



2023年5月

バリシップ2023 にて 西川頭取が基調講演



◀ 西瀬戸マリンパートナーズ
日野社長が船主座談会の
進行役も

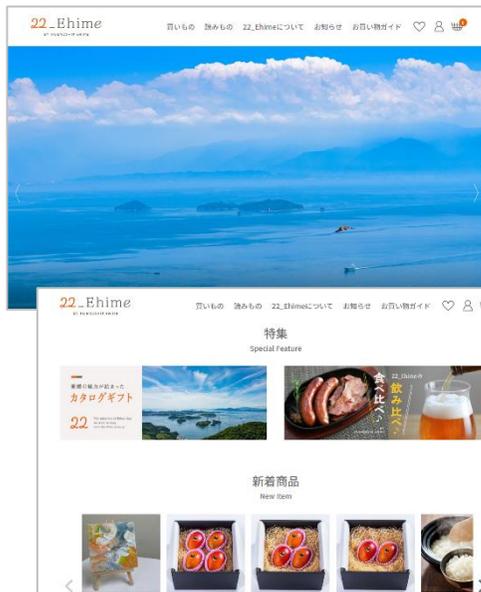
シッフファイナンス業務の高度化支援や海事産業従事者同士の
交流促進などを通して、西瀬戸圏域の繁栄と躍進に貢献

金融プラス1戦略 事業領域の拡大～フレンドシップえひめ～



2022年3月

ECサイト「22_Ehime」
オープン



2022年5月

カタログギフト第1弾
販売開始

2022年11月

カタログギフト第2弾
販売開始



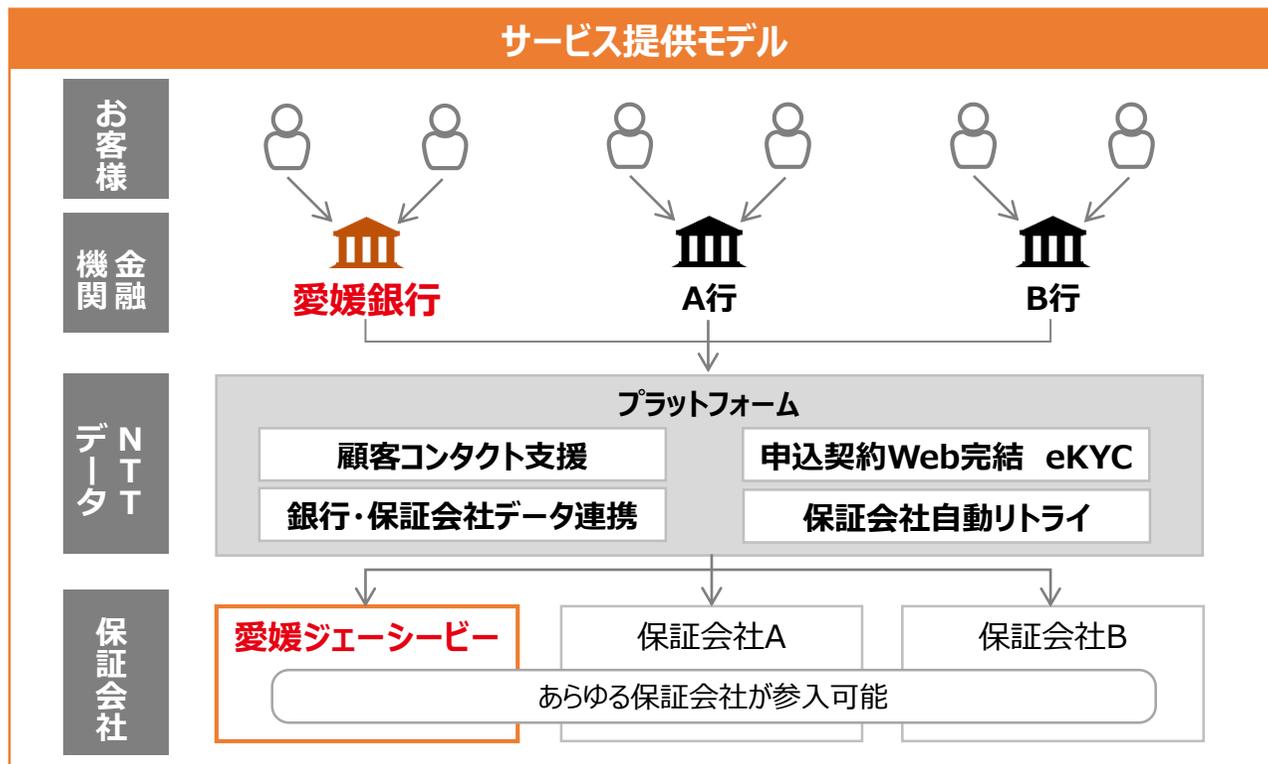
2022年7月

自治体からの委託業務を受託
(松山市、今治市)

＜ECサイト会員登録数の推移＞



- 当行が提案し、SMBCコンシューマーファイナンスおよびNTTデータと共同開発してきたプラットフォーム
- 2023年9月クイックカードローンで導入し、順次他商品にも展開しローン業務のデジタル化を推進



今後の展開

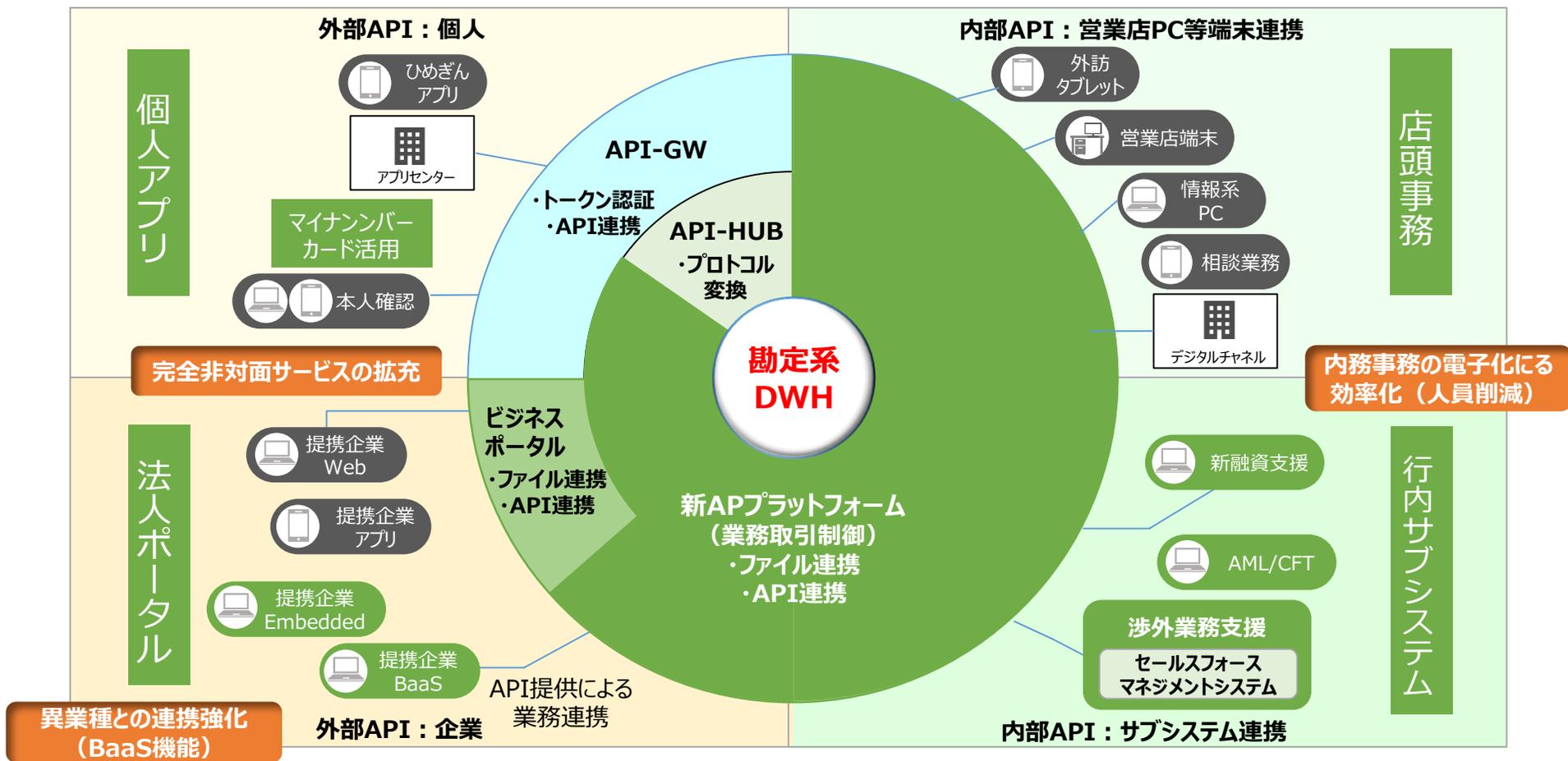
- 本プラットフォームに他行口座からのローン返済を可能とする仕組みを導入し、自行口座を保有していない広域の顧客に対して当行商品をアプローチ
- 当行子会社である愛媛ジェーシービーが本プラットフォームを通じて、他金融機関のローンを保証
- 蓄積されたデータ分析に基づく販促・回収活動の効率化

将来的には、「新商品の開発」、「全国展開の運用」を目指す

金融プラス1戦略 ～次世代金融サービスに向けた新APプラットフォーム構想～



- 当行が自営する勘定系システムを核として、API連携により各サービスと接続するプラットフォームを構築
- 金融プラスワン戦略で拡大する提携先とAPI連携することで顧客ニーズに対応したサービス提供が実現



<個人向け> コンサルティング戦略×デジタル戦略

▼スマートフォンアプリ「ひめぎんアプリ」



1次開発
● 口座残高照会機能

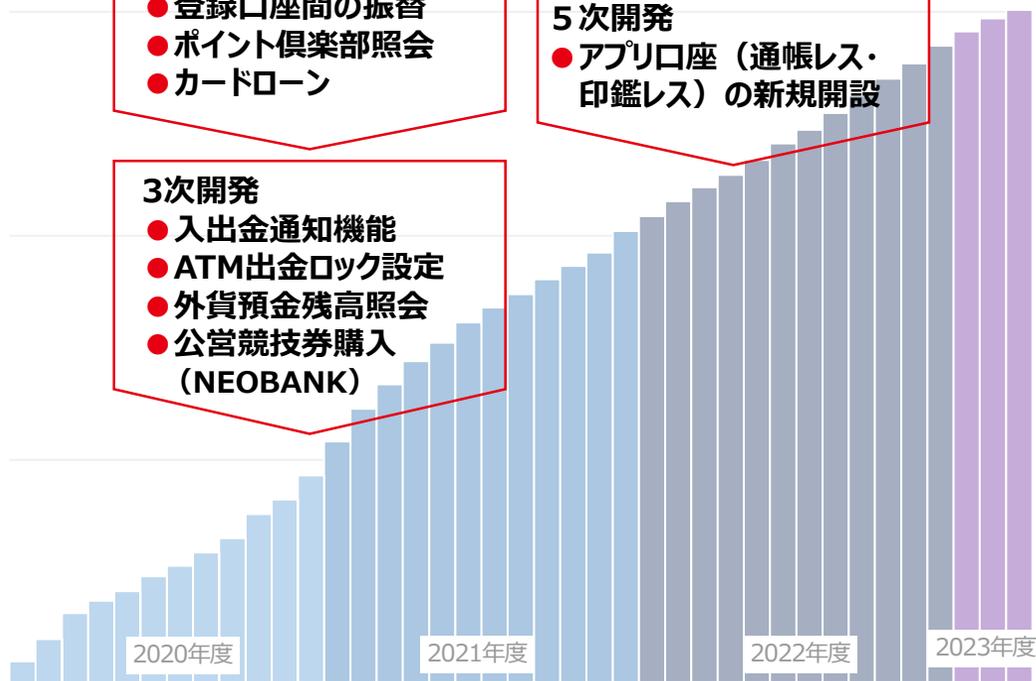
2次開発
● 投資信託運用状況照会
● 登録口座間の振替
● ポイント倶楽部照会
● カードローン

3次開発
● 入出金通知機能
● ATM出金ロック設定
● 外貨預金残高照会
● 公営競技券購入 (NEOBANK)

4次開発
● 振込機能
● 定期預金の作成・解約
● 住所・電話番号変更

5次開発
● アプリ口座 (通帳レス・印鑑レス) の新規開設

15万件を
突破!



▲「ひめぎんアプリ」ダウンロード数の推移

8月実装予定

6次開発
● 投資信託売買
● 証券口座・NISA
口座開設
● マイナンバー連携

更なる開発計画

● ライフプラン提案
など

<個人向け> コンサルティング戦略

「ひめぎん保険プラザ」開設 (2023年4月)



金融教育の実施 (2023年4月)



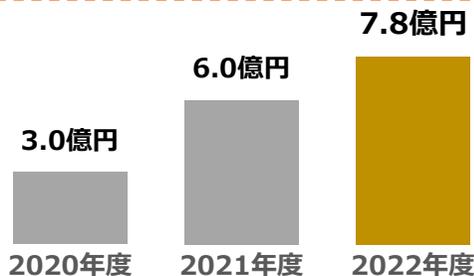
投資一任契約 「ひめぎんラップ」 取扱開始 (2023年4月)

- AIを活用して毎月ダイナミックな資産配分変更を行い、ポートフォリオ全体のリスクをコントロール
- 初めて資産運用を始める方から経験豊富な方まで多くのお客さまにとっての最善の利益を追求

〈KPI〉

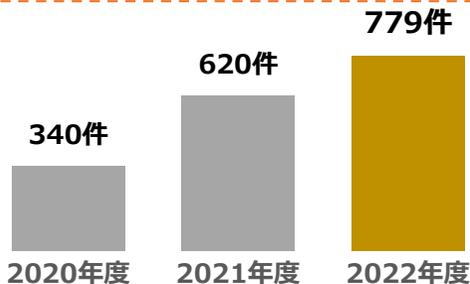
● 積立投信月次買付額

目標：10億円



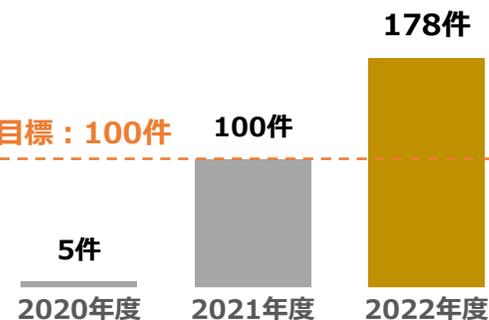
● 平準払い保険取扱件数

目標：1,000件



● 相続・贈与等にかかる信託商品取扱件数

目標：100件



<法人向け> コンサルティング戦略×デジタル戦略

事業性評価により企業のニーズ・課題を適切に把握し、
ソリューション提供により取引先の企業価値を創造

「ひめぎんビジネスポータル」

取扱い開始（2022年10月）

- パソコン等の簡単な操作で各種預金残高照会や融資申込等の機能を利用できる法人・個人事業主向けサービス



改正電子帳簿保存法 & インボイス制度

まるわかりセミナー開催
（2022年10月）

- 2022年1月改正の電子帳簿保存法と2023年10月から始まるインボイス制度に関するセミナーをオンラインで開催



<法人向け> コンサルティング戦略

2023年2月

株式会社あおぞら銀行との 顧客サポート業務に係る基本合意

～あおぞら銀行グループの専門性の高い
金融サービス機能やネットワークを活用～

● 主な内容

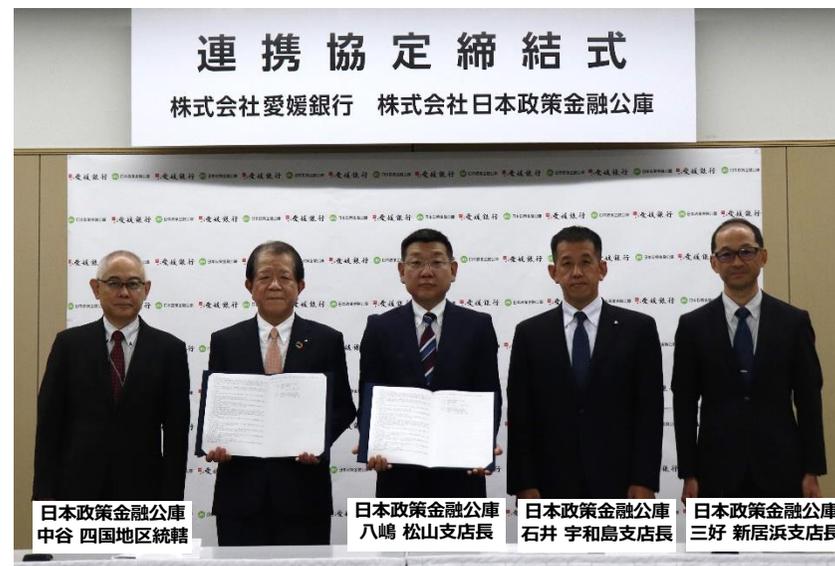
- (1) 経営改善、再生支援、事業承継、M&A
- (2) 資金調達手段の多様化への対応

など

2023年7月

日本政策金融公庫との 愛媛モデル構想の実現に向けて

～四国初、農林水産業、事業承継、創業の
3分野での支援パッケージを提供～



▲ 2023年7月25日 協定締結式の模様

2022年12月

ホーチミン市開発商業銀行 との業務提携

～ベトナムに進出するお客さまに、
きめ細かな金融サービスをご提供～

<法人向け> コンサルティング戦略

サステナブルローン実績

- 2022年8月 ひめぎんグリーンローン
(小型風力発電所建設資金)
- 2023年3月 ひめぎんグリーンローン
(太陽光発電所取得資金)
- 2023年3月 ひめぎんサステナビリティ・
リンク・ローン
(健康経営の高度化)
- 2023年5月 ひめぎんグリーンローン
(省エネ印刷機導入資金)
- 2023年6月 ひめぎんポジティブインパクトファイナンス
ひめぎんブルーローン
追加2商品を取り扱い開始

<これまでの実績：4先 814百万円>

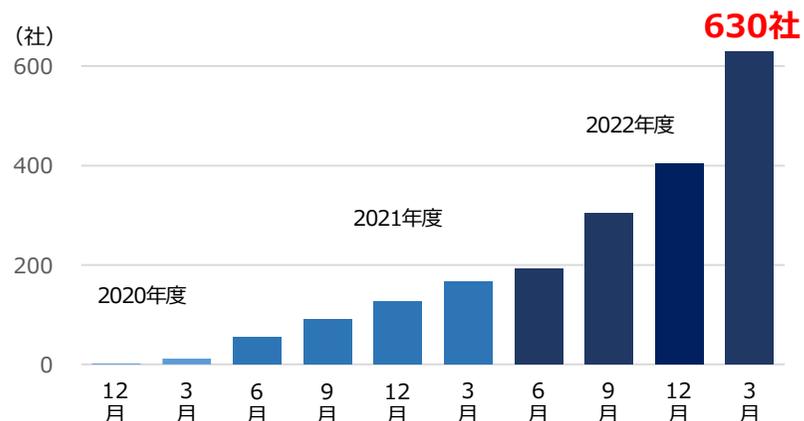
ESG関連投融资

2030年度までの
累計実行額目標

2,000億円

「SDGs経営立ち上げ支援サービス」

<累積支援先数の推移>



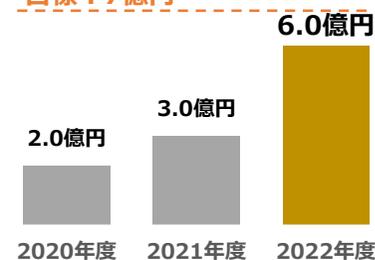
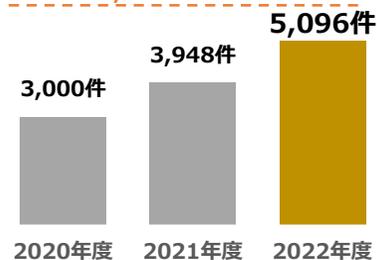
<KPI>

● 事業性評価の実施件数 (累計)

● コンサルティング関連手数料 (単年)

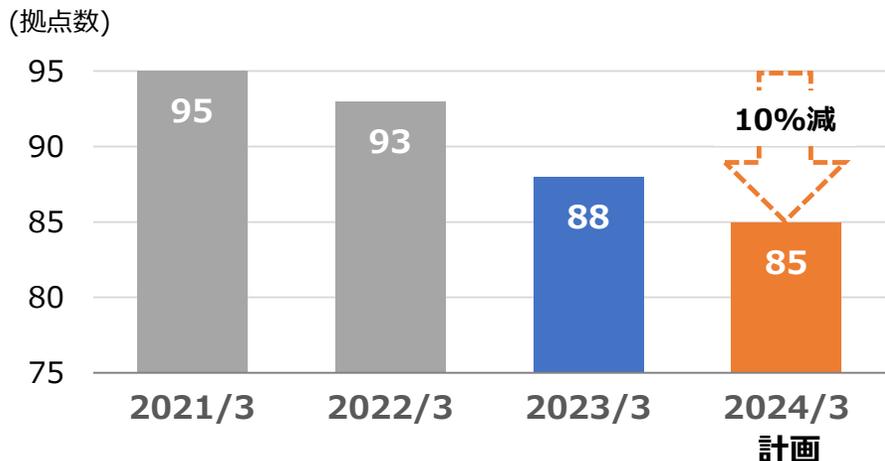
目標：6,000件

目標：7億円

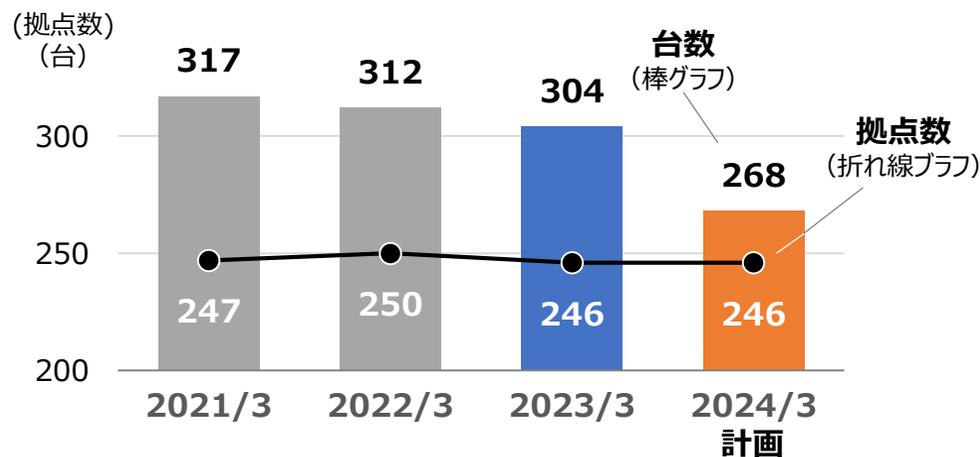


生産性向上戦略 ～効率的な店舗戦略を推進～

店舗拠点数の推移



ATM拠点数と台数の推移



<直近の店舗投資>

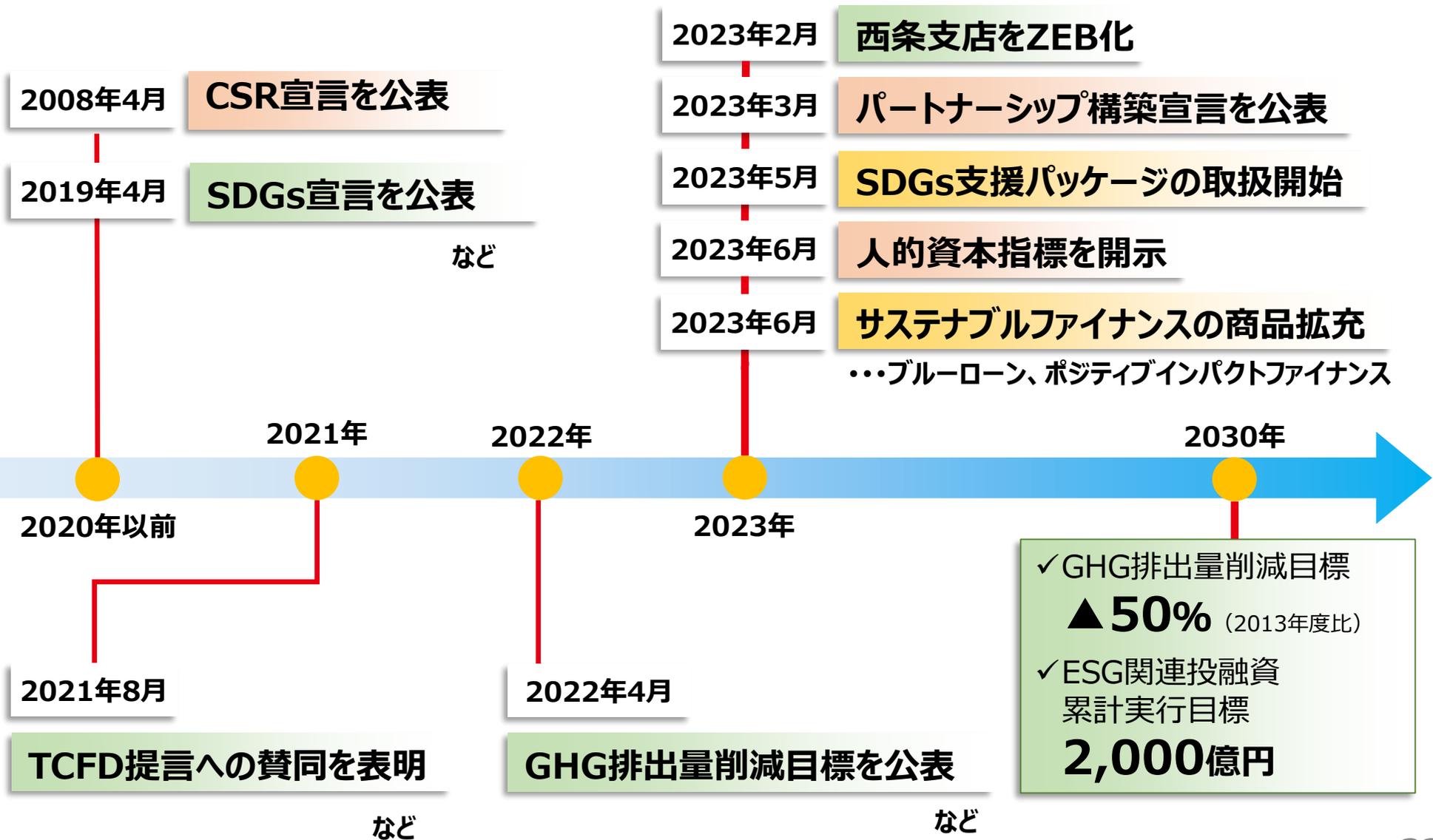


- ・ 最高レベルの「ZEB」認証取得
- ・ 西条支店の新築建替に伴い、西条エリア内のポーチエ飯岡出張所は、営業終了し、また、ローンセンター西条を西条支店に移転併設することで、経営資源（設備・人財）を集中

第3章

サステナビリティ経営

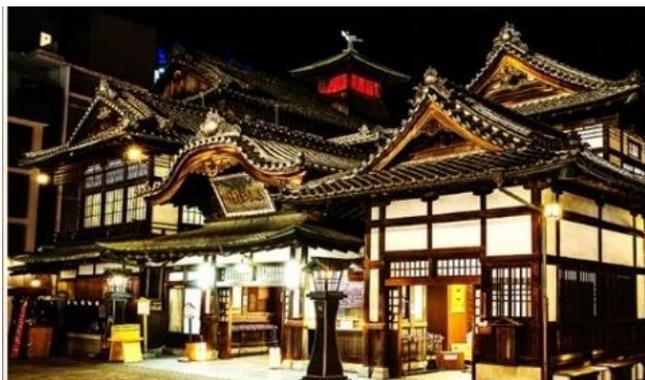
サステナビリティへの取組み



地方創生、地域活性化の取組み 1/5

新事業創出

ひめぎん新規事業創出プログラム 2022



- 愛媛銀行とKPMGジャパンの共催
- オープンイノベーションにより新規事業の創出を目指す、伴走支援型のプログラム

＜参加した愛媛県企業＞ ※五十音順

- (株)イナミコーポレーション
- 愛媛ダイハツ販売(株)
- カミ商事(株)
- (株)パステムマツザワ
- 星企画(株)

創業支援

2つのイノベーション起業塾

えひめアグリイノベーション起業塾



えひめイノベーション起業塾



ファンド活用

産業の活性化

えひめ一次産業応援ファンド
第7号

株式会社パプリカファーム
への投資

えひめ地域活性化ファンド
第13号

株式会社KIRIへの投資

「ちいきみらい創造ファンド投資事業有限責任組合」の組成

地方創生、地域活性化の取組み 2/5

新規取組み

愛媛県医師会との 医業承継等に関する連携協定

～相互の協力・協働によって、医業承継の
円滑な実現や地域社会への貢献を目指す～



新規取組み

株式会社愛媛CATVとの 地域DX推進に係る包括連携協定

～地域企業のDX実現を支援し、
地域経済の活性化に向けて取り組む～



地方創生、地域活性化の取組み 3/5

新規取組み

四国電力との 地域社会・地域企業のカーボン ニュートラルに向けた取組支援 にかかるとの連携協定

～愛媛県を中心とした地域社会・地域企業
のカーボンニュートラルに向けた取組支援～



新規取組み

SDGsの推進に係る 食品ロス削減及び特産品のPRに 向けた連携協定

2022年12月締結 八幡浜市・株式会社クラダシ



上島町×愛媛銀行×クラダシ連携協定締結式
上島町におけるSDGsの推進に係る
食品ロス削減及び特産品のPRに向けた連携協定



2023年3月締結 上島町・株式会社クラダシ

地方創生、地域活性化の取組み 4/5

2023年5月

今治市における 「地方創生に関する包括連携協定」



- 協定の参加者
 - ・ 今治市
 - ・ 株式会社愛媛銀行
 - ・ 株式会社山口フィナンシャルグループ
 - ・ 株式会社YMF G ZONE プランニング

2023年6月

日本航空株式会社との 地域創生の推進に係る包括連携協力



- 主な内容
 - ① 交流人口拡大（観光振興）に関する事項
 - ② 地域産品の振興に関する事項
 - ③ 人材育成振興に関する事項
 - ④ 地域活性化に資する事項

地方創生、地域活性化の取組み 5/5

2023年4月

愛媛銀行ふるさと振興基金 第40回 顕彰式

第40回 ふるさと振興賞顕彰式



● 企業の部

- ・ 学校法人河原学園（松山市）
- ・ 四国紙販売株式会社（四国中央市）
- ・ 医療法人恕風会（大洲市）

● 経営者の部

- ・ 森 一哉（松山市）
（株式会社クロス・サービス 代表取締役会長）

年間2回

愛媛銀行ふるさと振興基金 助成金目録・表彰状贈呈式



● 上期助成先

- ・ 鹿島權練保存会
- ・ 垣生じょうさ節保存会
- ・ 伊予史談会
- ・ 檜谷棚田保存会

● 下期助成先

- ・ 愛媛県三曲協会
- ・ NPO法人クオティアンドコミュニケーションオブアーツ
- ・ 憧山会
- ・ 御用練り保存会

人的資本経営の取組み

新卒採用

メタバースを活用した就活イベント開催 (2023年2月)



初任給の引上げを実施 (2023年4月)

女性活躍

南商事株式会社とのコラボ

小学校児童への金融教育を実施 両社女性チームによる連携企画



健康経営

「健康経営優良法人2023」認定



人財育成

省庁・異業種への派遣（若手育成）

「カムバック採用制度」新設 (2022年9月)

平均2%のベースアップを実施 (2023年4月)

働き方改革

副業によるスキルアップの醸成

CMリニューアルのご紹介

2023年5月

県内の若者を応援 新CMを放映開始

～ 今回出演いただいた若者たち ～

- 村井 珠夏さん（今治市出身）
- 真鍋 竜さん（西条市出身）
- 渡辺 将斗さん（宇和島市出身）
- 八幡浜工業高校 電気技術部（八幡浜市）
- 三島高校 書道部（四国中央市）

全国高校生溶接技術競技会優秀賞
スピードクライミング ユース日本選手権2位
U23 車いすバスケットボール世界選手権優勝
ロボットコンテスト国際大会シニア部門5位
書道パフォーマンス甲子園全国3位



愛媛銀行のスポーツ

▼ 男子陸上部 「第60回愛媛マラソン」 中村選手優勝！

- 2023年2月23日、10,140名のランナーが参加する中、前回大会準優勝の中村選手が残り2キロ地点でトップに躍り出ると、そのまま首位を守り切り見事2度目となる優勝を果たしました！（2時間17分27秒）



本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって
異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

愛媛銀行 企画広報部

TEL089-933-1111 FAX089-933-1027

e-mail kouhou@himegin.co.jp

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>